

不良流出・顧客クレームにつながる「ポカミス」が減らない本当の理由

10,000件超の事例から導き出された20の要因と20の対策で
モグラたたきからのポカミス対策からの脱却。「ポカミスゼロ」化への具体的なアプローチ

日時 2019年 **6月26日(水)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
(大阪市中央区北浜東 2-16)

受講料 **43,200円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382

*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関で会場へお越しください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		6/26 ポカミスゼロ		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒	E-mail: <input type="checkbox"/> ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.192050

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

多くの生産現場では、毎日の品質管理活動にもかかわらず、【不良流出・顧客クレーム】が減らずに依然として困っています。

そして、現場で発生する品質問題は高度な技術理論や手法が必要となるケースは稀で、ちょっとしたポカミス・モレなどに起因することが圧倒的多数です。

なぜ、「品質管理活動を推進」しても、こうした「ポカミスが無くならない」のか？

その理由は従来型の品質管理活動では「ポカミスの発生要因が見えず」、対策がモグラたたきになっているからです。つまり、【発生原因をきちんと特定し、対策を打てば】ポカミスをゼロにすることができます。

本セミナーでは、講師が実際のコンサルティングで解決した1万超の事例を分析、不良発生や顧客クレームにつながるポカミスの要因を26に定義し、発生メカニズムを明確にしました。

具体的に現場で使える対策として、従来のIE改善をベースに

「知らないことを教える」、「現場の鉄則を教える」、「OJTに代わる今の時代にふさわしい教育・訓練のしくみを構築する」、「モラルマネジメントによりメンタルケアする」、「疲れにくくストレスがかかりにくい環境・管理を実現する」、「頭脳労働にはAIを使う」という6つの新しい考え方を加えることにより、ポカミスゼロ化ツールとして確立することができました。

本セミナーにより、モグラたたきのポカミス対策から脱却し、ぜひ、ポカミスゼロの理想現場を実現して下さい。



進呈！（講師著書）

講師

株式会社ロンド・アプリウエアサービス **中崎 勝 氏**

【略歴】 1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウエアサービスを設立し、製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、技術セミナーも幅広く実施しており、具体的な要因分析にもとづき、かつ具体例を提示するプログラムで好評を得ている。

プログラム

1. ポカミスゼロへのアプローチ

- 1-1 基本的な考え方
 - ・ポカミスの特徴となくなる理由
 - ・ポカミス・20の要因
 - ・6つの新しい考え方による20の対策
- 1-2 潜在化対策
 - ・NG/OKシートで80%のミスがなくなる
 - ・ミスゼロのための現場の6つの鉄則
- 1-3 ルールを守らせるための対策
 - ・OJTから新たな教育・訓練のしくみへ
- 1-4 うっかり対策
 - ・自主休憩、体調・都合管理、環境改善
- 1-5 限界作業改善
 - ・AIによる検査・判断・入力ミス対策
- 1-6 ポカミスゼロへのアプローチ
 - ・ポカミスが出た時のインタビューの仕方
- 1-7 ポカミスゼロで理想職場の実現

2. 実践2Sへのアプローチ

- 2-1 2Sでポカミスの遠因を対策する
- 2-2 更地化：短時間効果的実践法
- 2-3 変化に対応できるしくみづくり

3. 標準整備へのアプローチ

- 3-1 標準の実態
- 3-2 標準を改善する
- 3-3 標準整備の7ステップ

4. ビデオ標準作成へのアプローチ

- 4-1 教育・訓練の実態
新たな教育・訓練のしくみづくり
- 4-2 ビデオ標準で標準遵守、多能工化、技能伝承をスピーディーかつ確実に
- 4-3 ビデオ標準作成の7つのポイント
- 4-4 ビデオ標準教育・訓練運用ポイント

5. モラルアップへのアプローチ

- 5-1 モラルとは
実態：日本人は低いという事実
- 5-2 モラルアップの5原則
モラルを上げるには（動機付け）
- 5-3 やる気にさせる8つの施策
- 5-4 尊敬される上司になる
- 5-5 人は環境の生き物